

平成30年～令和3年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)
自己点検報告書

| | |
|---------------|---------------------------------------------------------------------|
| 団 体 名 | 公益財団法人墨田区文化振興財団 |
| 施 設 名 | すみだトリフォニーホール |
| 助 成 対 象 活 動 名 | 文化芸術振興による「すみだ」の地域力の向上 |
| 助 成 期 間 | 5 (年間) |
| 内 定 額 | 平成30年度 57,280 平成31年度 52,677 令和2年度 33,448 令和3年度 51,952 (千円) |

1. 事業概要

(1) 事業計画の概要

全体図（概念図）

（事業名）文化芸術振興による「すみだ」の地域力の向上

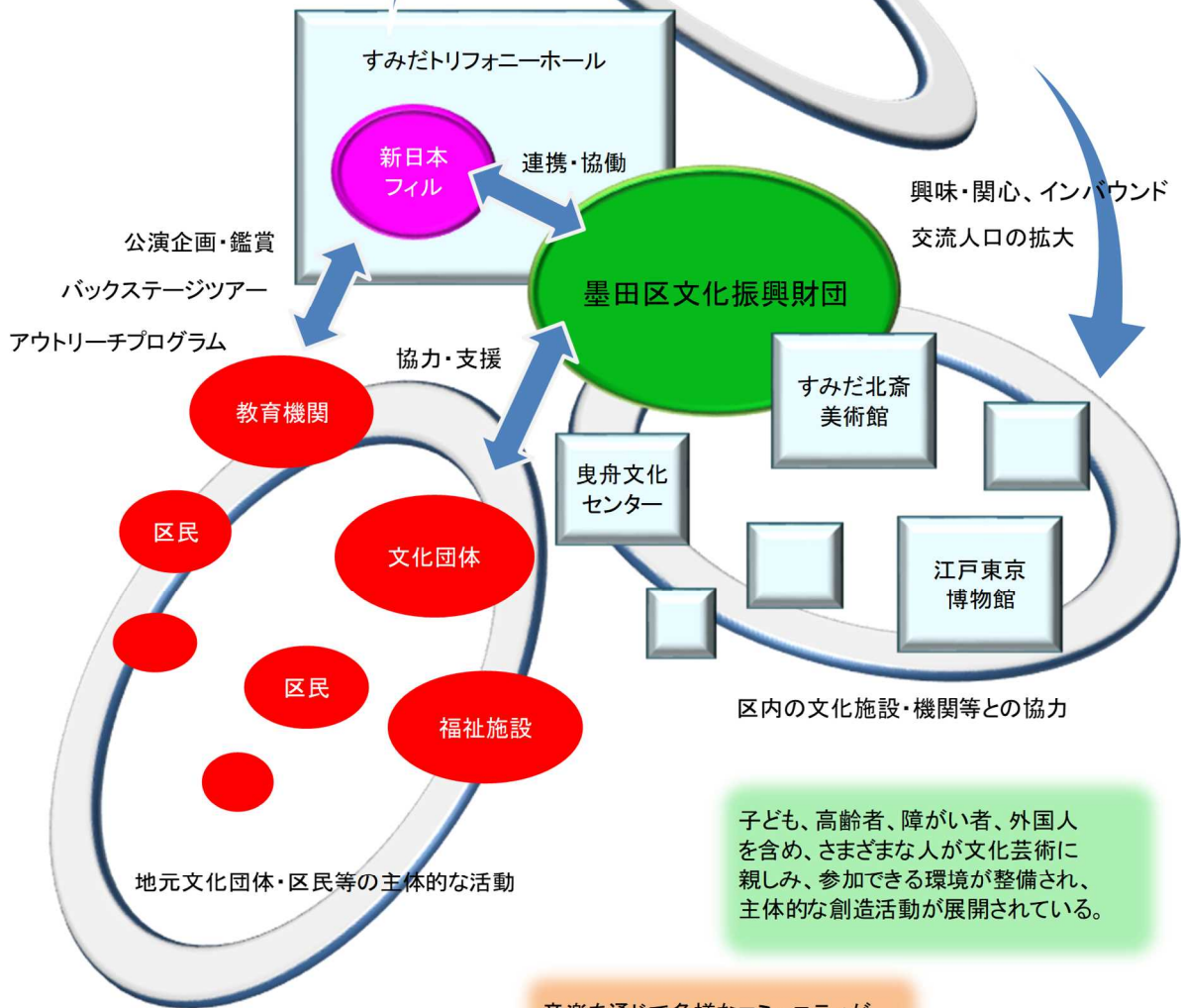
世界的なメガシティ東京の東部に位置する音楽ホールとして、広域関東圏から来館者・利用者を招くとともに、良質なプログラムで国内外の音楽関係者から知られる存在となる。

当館の存在及び事業により交流人口が増加し、地域の魅力が発信されるとともに、すみだに育ち、働き、暮らすことを人々が誇りに感じている。

ホール及び「すみだ」の世界的発信

国内外の音楽家やホール等とのネットワーク

興味・関心、インバウンド
交流人口の拡大



子ども、高齢者、障がい者、外国人を含め、さまざまな人が文化芸術に親しみ、参加できる環境が整備され、主体的な創造活動が展開されている。

音楽を通じて多様なコミュニティが形成され、地域や世代を超えた人と人とのつながりが育まれている。

(2) 令和3年度実施事業一覧

| 番号 | 事業名 | 主な実施日程 | 概要 (演目、主な出演者、スタッフ等) | 入場者・参加者数 | |
|----|-------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|---------|
| | | 主な実施会場 | | 目標値 | 実績値 |
| 1 | すみだ平和祈念音楽祭 2022 | 2022年3月12日(土) | 演目:コダーイ/ミゼレーレ モーツァルト:ピアノ協奏曲第24番 サン=サーンス/アヴェマリア プリテン/シンフォニア・ダ・レクイエム 出演:下野竜也 津田裕也 新日本フィルハーモニー交響楽団 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により関連企画実績減 | 目標値 | 1,000 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 804※ |
| 2 | トリフォニーホール パイプオルガン・クリスマス・コンサート 2021 | 2021年12月19日(日) | 演目:クロード・ダカン/ノエル第10番 スタジオジブリメドレー J.S.バッハ/カンタータ第147番より「主よ、人の望みの喜びを」、前奏曲とフーガ 他 出演:梅干野安未 平野公崇 岩崎瑞穂 | 目標値 | 1,400 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 3,053 |
| 3 | オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー | 通年 | 出演:原田真侑・木村理佐・栗山美緒・平野由衣・湊彩花・阿部翠 | 目標値 | 1,000 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 170 |
| 4 | オルガン体験教室 for すみだ | 通年 | 出演:長田真実、室住素子 | 目標値 | 30 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 103 |
| 5 | トリフォニーホール・グレート・プラス&ウィングス・シリーズ | 2021年6月29日(土) 2021年9月26日(土) | 出演:中川英二郎 エリック・ミヤシロ・本田雅人・川瀬賢太郎 新日本フィルハーモニー交響楽団 シエナ・ウインド・オーケストラ ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により1公演減 | 目標値 | 3,900 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 2,089 ※ |
| 6 | トリフォニーホール・グレート・ピアニスト・シリーズトリフォニーホール《ゴルトベルク変奏曲》2021 ヴィキングル・オラフソン | ※中止 | ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により公演を中止した。 | 目標値 | 1,000 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | — ※ |
| 7 | トリフォニーホール・セレクション ウィーン少年合唱団 | ※中止 | ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により公演を中止した。 | 目標値 | 1,100 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | — ※ |
| 8 | 下野竜也プレゼンツ!音楽の魅力発見プロジェクト第8回 | 2021年8月14日(土) | 演目:大河ドラマ作品 出演:下野竜也 新日本フィルハーモニー交響楽団 | 目標値 | 1,100 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 827 |
| 9 | 新日本フィル・ニューイヤー・コンサート 2021 in すみだ 舟 《落語&コンサート》 | 2022年1月15日(土) | 演目:J.シュトラウスⅡ/喜歌劇《こうもり》序曲 春の声 雷鳴と電光 美しく青きドナウ グノー/歌劇《ファウスト》より「宝石の歌」 出演:立川龍志 横山奏 中須美喜 田添菜穂子 新日本フィルハーモニー交響楽団 | 目標値 | 500 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 453 |
| 10 | 赤ちゃんも、障がいのある方も、未就学児も…みんなみんな、「ようこそ!誰でもコンサート」新日本フィル・スペシャル!~Sound Dream Project~ | 2021年6月3日(土) | 演目:久石譲:オーケストラ・ストーリーズ「となりのトトロ」より「さんぽ」 アンダーソン/トランペット吹きの子守歌 プリンク・ブランク・プルンク 出演:永峰大輔 岩崎瑞穂 新日本フィルハーモニー交響楽団 | 目標値 | 700 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 569 |
| 11 | お腹に赤ちゃんのいるお母さんのためのリラックス・コンサート | 2021年11月3日(水祝) | 演目:久石譲:オーケストラ・ストーリーズ「となりのトトロ」より「さんぽ」 モーツァルト/歌劇「魔笛」より夜の女王のアリア ハチャトゥリアン/仮面舞踏会よりワルツ 出演:和田一樹 中須美喜 田添菜穂子 福田えりか 新日本フィルハーモニー交響楽団 | 目標値 | 1,300 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 1,057 |

| | | | | | |
|----|----------------------------------------------|-------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----|--------|
| 12 | 新日本フィル・シンフォニック・ジャズ・コンサート Special Guest 上原ひろみ | 2021年8月9日(土)※ | 演目:バーンスタイン/キャンディード序曲 出演:上原ひろみ 新日本フィルハーモニー交響楽団 | 目標値 | 1,000 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 1,524 |
| 13 | 新日本フィル・アウトリーチ・プログラム | 通年 | 新日本フィルハーモニー交響楽団 楽員 | 目標値 | 7,400 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 6,678 |
| 14 | 墨田区立中学校全10校による「すみだ中学校吹奏楽祭2021」 | 2021年11月24日(土)※ | ※ホールの公演は中止となったが、前提となる音楽教員向け事業を開催した。講師:中谷孝哉 | 目標値 | 1,000 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 10※ |
| 15 | すみだ音楽祭2021 | 2022年8月22(土) 28・29日(土・日) | 出演:すみだマンドリンクラブ 墨田区吹奏楽団 立志舎高校吹奏楽部 コール・アミーガ 他 ※新型コロナウイルス感染拡大に伴う参加団体数が大幅に減・入場数制限 | 目標値 | 10,000 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 900※ |
| 16 | トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ | 2021年10月、11月21日(日)、 2022年3月27日(日) ※(公演中止) | ※新型コロナウイルス感染拡大に伴い公演はすべて中止となり、練習のみ実施した。 | 目標値 | 2,000 |
| | | すみだトリフォニーホール | | 実績値 | —※ |
| 17 | トリフォニーホール《すみだキッズ年間パス》 | 通年 | ※新型コロナウイルス感染拡大に伴い対象公演減 | 目標値 | 50 |
| | | — | | 実績値 | 26※ |
| 18 | ホール探訪!もっとトリフォニーホールを知ろう | 2022年11月14日(日) ※ | 出演:木村理佐 ※新型コロナウイルス感染拡大に伴い実施内容を変更、実施回数減 | 目標値 | 360 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 51※ |

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(3) 令和2年度実施事業一覧

| 番号 | 事業名 | 主な実施日程 | 概要 (演目、主な出演者、スタッフ等) | 入場者・参加者数 | |
|----|------------------------------------|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|----------|--------------|
| | | 主な実施会場 | | 目標値 | 実績値 |
| 1 | 「SOUND Dream Project」 | 2020年6月10日(水) ※ | 新型コロナウイルス感染症の影響で公演を中止した。 | 目標値 | 1,000 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | —※ |
| 2 | 「新日本フィルの生オケ・シネマ vol.5 チャップリン《街の灯》」 | 2021年3月17日(水) ※ | 演目：チャップリン 《街の灯》 (86分、休憩なし) 出演：竹本泰蔵(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 | 目標値 | 910 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 739※ |
| 3 | Fun!Fun!Fun!2020 映画名シーンをオーケストラとともに | 2020年8月10日(月) ※ | 曲目：星に願いを、アズ・タイム・ゴーズ・バイ、雨に唄えば、他 出演：竹本泰蔵(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 | 目標値 | 800 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 419※ |
| 4 | 綾小路きみまろ爆笑ライブ with 新日本フィル「大人のハーモニー」 | 2020年12月6日(日) | 演目：綾小路きみまろ爆笑ライブ、グローフェ/ミシシッピー組曲 他 出演：綾小路きみまろ(漫談・司会)、角田綱亮(指揮・お話)、新日本フィル | 目標値 | 950 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 747※ |
| 5 | 「小菅優 & 新日本フィル《生誕250周年オール・ベートーヴェン》」 | 2021年1月6日(水)※ | 演目：ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第5番「皇帝」、他 出演：小菅優(ピアノ) 角田綱亮(指揮) 新日本フィル | 目標値 | 600 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 661※ |
| 6 | 「第7回 音楽の魅力発見プロジェクト・スペシャル」 | 2020年8月15日(土) ※ | 演目：ベートーヴェン/交響曲の全1楽章 出演：下野竜也(指揮)、新日本フィル 注：1日2回公演として実施※ | 目標値 | 850 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 536※ 448※ |
| 7 | 「すみだ平和祈念コンサート2021」プロジェクト | 2021年3月10日(水) ※ | 演目：ベートーヴェン/交響曲第2番、ゲーテの悲劇《エグモント》への音楽 出演：秋山和慶(指揮)、石丸幹二(朗読)、櫻井愛子(ソプラノ)、新日本フィル | 目標値 | 900 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 541※ |
| 8 | 「ベルリンフィル・ホルンカルテットの世界一周」 | 2020年7月2日(木)※ (公演中止) | 新型コロナウイルス感染症の影響で公演を中止した。 | 目標値 | 650 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | —※ |
| 9 | 講談：神田松之丞 真打祝・独演会 | 2020年11月5日(木) ※ | 演目：「扇と的」「東玉と伯圓」「中村仲蔵」 出演：六代目 神田伯山(講談) | 目標値 | 900 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 1,141※ |
| 10 | トリフォニーホール パイプオルガン・バレンタイン・コンサート2021 | 2021年2月11日(木) ※ | 演目：メンケン/『美女と野獣』メドレー、パッヘルベル/カノン、他 出演：室住素子(オルガン)、操美穂子(ハープ)、田添菜穂子(司会) | 目標値 | 700 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 595※ |
| 11 | トリフォニーホール for クリスマス 2020 | 2020年12月11日(金) ※ | 出演：長田真実[オルガン]、田添菜穂子[司会] 注：1日2回公演として実施 | 目標値 | 600 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 775※ 771※ |
| 12 | トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ | 2020年8月22日(土)、 10月18日(日)、3月28日(日) ※(公演中止) | 新型コロナウイルス感染症の影響で公演はすべて中止となり、年度末に2回の合奏練習のみ実施した。 | 目標値 | 4,000 |
| | | すみだトリフォニーホール 墨田区総合体育館 | | 実績値 | —※ |
| 13 | すみだ音楽祭2020 | 2020年8月23日(日)・29日(土)・30日(日)※(全公演中止) | 新型コロナウイルス感染症の影響で公演をすべて中止した。 | 目標値 | 12,000 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール・小ホール | | 実績値 | —※ |

| 番号 | 事業名 | 主な実施日程 | 概要 (演目、主な出演者、スタッフ等) | 入場者・参加者数 | |
|----|---------------------------|----------------------|-----------------------------|----------|--------|
| | | 主な実施会場 | | 目標値 | 実績値 |
| 14 | パイプオルガン・コンサート&バックステージ・ツアー | 通年 | 出演：木村理佐、原田真侑、東方理紗 [パイプオルガン] | 目標値 | 100 |
| | | すみだトリフォニーホール 大ホール | | 実績値 | 179 |
| 15 | 新日本フィル活用アウトリーチ・プログラム | 通年※ | 新日本フィルハーモニー交響楽団 楽員 | 目標値 | 5,000 |
| | | 墨田区立小中学校 墨田区内福祉施設 | | 実績値 | 5,976※ |

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(4) 平成31年度実施事業一覧

| 番号 | 事業名 | 主な実施日程 | 概要 (演目、主な出演者、スタッフ等) | 入場者・参加者数 | |
|----|-------------------------------------------------------------------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------|----------|--------|
| | | 主な実施会場 | | 目標値 | 実績値 |
| 1 | すみだ平和祈念音楽祭 2020 | 2020年3月10日 他 | 出演：上岡敏之(指揮)、坂東玉三郎(朗読)、櫻井愛子(ソプラノ)、新日本フィルハーモニー交響楽団 他 ※新型コロナウイルス感染拡大に伴う中止 | 目標値 | 4,800 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 0※ |
| 2 | 新日本フィルの生オケ・シネマ 2019 | 2019年5月25日 | 出演：ティモシー・ブロック(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 他 | 目標値 | 2,400 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 1,456 |
| 3 | トリフォニーホール・グレイト・ピアニスト・シリーズ 2019/20 | 2019年6月4日 他 | 出演：ピョートル・アンデルシェフスキ、ピーター・ゼルキン、ヴィキングル・オラフソン、ジャンルカ・カシオーリ、新日本フィルハーモニー交響楽団 | 目標値 | 4,400 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 1,582 |
| 4 | トリフォニーホール・グレイト・オーケストラ・シリーズ 2019/20 | 2019年6月30日 他 | 出演：クリスティアン・アルミンク(指揮)、ベルギー王立リエージュ・フィルハーモニー管弦楽団、エリアフ・インバル(指揮)、ペルリン・コンツェルトハウス管弦楽団 他 | 目標値 | 2,200 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 1,509 |
| 5 | トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ | 2019年8月1日 他 | 出演：松尾葉子(指揮)、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ 他 | 目標値 | 5,000 |
| | | 大ホール 他 | | 実績値 | 4,030 |
| 6 | すみだ音楽祭 2019 | 2019年8月18日 他 | 出演：墨田区内で活動する音楽団体等(34団体) | 目標値 | 10,000 |
| | | 大・小ホール | | 実績値 | 22,000 |
| 7 | 新日本フィル・アウトリーチ・プログラム | 2019年10月20日 他 | 出演：新日本フィルハーモニー交響楽団 楽団員 他 | 目標値 | 8,000 |
| | | 墨田区立小中学校、墨田区内施設 | | 実績値 | 7,000 |
| 8 | 下野竜也プレゼンツ！音楽の魅力発見プロジェクト第6回「オーケストラ付レクチャー・コンサート」チャイコフスキー：交響曲第6番「悲愴」 | 2019年8月4日 | 出演：下野竜也(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 | 目標値 | 1,500 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 900 |
| 9 | 新日本フィル・ニューイヤー・コンサート 2020 in すみだ曳舟 | 2020年1月4日 | 出演：春風亭一朝(落語)、角田鋼亮(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 | 目標値 | 500 |
| | | 曳舟文化センター | | 実績値 | 450 |
| 10 | トリフォニーホール《クリスマス・オルガン・コンサート》 2019 | 2019年12月22日 | 出演：アダム・タバイディ(オルガン)、中須美喜(ソプラノ) | 目標値 | 1,200 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 1,600 |
| 11 | バックステージ・ツアー&オルガン・コンサート | 2019年6月6日 他 | 出演：棚瀬紫織(オルガン)、内田光音(オルガン)、石川優歌(オルガン) | 目標値 | 200 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 100 |
| 12 | すみだ×浜松音楽都市交流企画「浜松国際ピアノコンクール優勝者ピアノ・リサイタル」 | 2019年8月5日 | 出演：ジャン・チャクムル | 目標値 | 1,801 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 1,000 |
| 13 | 参加するホール～演ずる、創る、聴く「ソツリマと100チェロ」 | 2019年8月12日 他 | 出演：ジョバンニ・ソツリマ(チェロ)、エンリコ・メロツツィ(チェロ)、100人のチェリスト(公募) ※みんなで歌おう第九コンサート中止 | 目標値 | 2,400 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 1,500 |

| 番号 | 事業名 | 主な実施日程 | 概要 (演目、主な出演者、スタッフ等) | 入場者・参加者数 | |
|----|-----------------------------------|------------|------------------------------------------|----------|-------|
| | | 主な実施会場 | | 目標値 | 実績値 |
| 14 | トリフォニーホール・セレクション 2019「ラトヴィア放送合唱団」 | 2019年6月2日 | 出演：シグヴァルズ・クラークヴァ(指揮)、ラトヴィア放送合唱団 他 | 目標値 | 1,200 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 700 |
| 15 | 尾上菊之助×新日本フィルハーモニー交響楽団「鷺姫と白鳥の湖」 | 2019年8月27日 | 出演：尾上菊之助(舞踊・語り)、角田鋼亮(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 | 目標値 | 1,200 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 950 |

※ …新型コロナウイルス感染症の影響があったもの

(5) 平成30年度実施事業一覧

| 番号 | 事業名 | 主な実施日程 | 概要 (演目、主な出演者、スタッフ等) | 入場者・参加者数 | |
|----|----------------------------------------------|---------------|-----------------------------------------------------------------|----------|--------|
| | | 主な実施会場 | | 目標値 | 実績値 |
| 1 | すみだ平和祈念音楽祭 2019 | 2019年3月2日 他 | 出演：マックス・リヒター(ピアノ・エレクトロニクス)、ダニエル・ハーディング(指揮)、マーラー・チェンバー・オーケストラ 他 | 目標値 | 7,000 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 4,378 |
| 2 | 新日本フィルの生オケ・シネマ 2018 | 2018年5月26日 他 | 出演：ティモシー・ブロック(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団、山田雅人(お話) 他 | 目標値 | 5,000 |
| | | 大・小ホール | | 実績値 | 1,960 |
| 3 | トン・コープマン・プロジェクト 2019 | 2018年9月6日 他 | 出演：トン・コープマン(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 | 目標値 | 1,800 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 2,613 |
| 4 | トリフォニーホール・グレイ ト・ピアニスト・シリーズ 2018 | 2018年8月1日 他 | 出演：ネルソン・フレイレ、ファジル・サイ、新日本フィルハーモニー交響楽団、マルティン・シュタットフェルト、エリソ・ヴィルサラゼ | 目標値 | 4,800 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 3,300 |
| 5 | トリフォニーホール・《ゴル トベルク変奏曲》シリーズ 2018 | 2018年12月10日 | 出演：マハン・エスファハニ(チェンバロ)、川瀬賢太郎(指揮)、日本センチュリー交響楽団 | 目標値 | 1,000 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 499 |
| 6 | トリフォニーホール・グレイ ト・ヴァイオリニスト・シ リーズ 2018/19 | 2018年10月21日 | 出演：ヴィクトリア・ムローヴァ(ヴァイオリン) | 目標値 | 1,000 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 754 |
| 7 | トリフォニーホール・グレイ ト・オーケストラ・シ リーズ 2019 | 2019年2月11日 | 出演：テオドール・クルレンツィス(指揮)、パトリツィア・コパチンスカヤ(ヴァイオリン)、ムジカエテルナ | 目標値 | 1,200 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 1,760 |
| 8 | トリフォニーホール・ジュ ニア・オーケストラ | 2019年3月25日 他 | 出演：松尾葉子(指揮)、吉見友貴(ピアノ)、トリフォニーホール・ジュニア・オーケストラ | 目標値 | 5,000 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 5,794 |
| 9 | すみだ音楽祭 2018 | 2018年8月19日 他 | 出演：区内で活動する音楽団体等(28団体) | 目標値 | 12,000 |
| | | 大・小ホール | | 実績値 | 9,145 |
| 10 | 新日本フィル・アウトリーチ・ プログラム | 2018年10月21日 他 | 出演：新日本フィルハーモニー交響楽団団員 | 目標値 | 8,000 |
| | | 小中学校、福祉施設 | | 実績値 | 7,174 |
| 11 | 下野竜也プレゼンツ！音楽の 魅力発見プロジェクト | 2018年8月12日 | 出演：下野竜也(指揮)、新日本フィルハーモニー交響楽団 | 目標値 | 1,500 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 1,300 |
| 12 | 新日本フィル・ニューイヤー・ コンサート 2019in すみだ曳 舟 | 2019年1月4日 | 出演：五街道雲助(落語)、円光寺雅彦(指揮)、中須美喜(ソプラノ)、太平倍大(テノール)、新日本フィル | 目標値 | 400 |
| | | 曳舟文化センター | | 実績値 | 535 |
| 13 | トリフォニーホール《クリ スマス・オルガン・コンサ ート》 2018 | 2018年12月22日 | 出演：シモン・ボレノ(オルガニスト)、きりく・ハンドベルアンサンブル(ハンドベル) | 目標値 | 1,000 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 1,635 |
| 14 | トリフォニーホール《ホ ール・オープン・デー 》 2018/19 | 2018年8月5日 | 出演：新日本フィルハーモニー交響楽団団員 | 目標値 | 300 |
| | | 大・小ホール | | 実績値 | 85 |

| 番号 | 事業名 | 主な実施日程 | 概要 (演目、主な出演者、スタッフ等) | 入場者・参加者数 | |
|----|-----------------------|-------------|-------------------------------------------------------|----------|-----|
| | | 主な実施会場 | | 目標値 | 実績値 |
| 15 | バックステージツアー&オルガン・コンサート | 2018年9月9日 他 | 出演：阿部翠(オルガニスト)、棚瀬紫織(オルガニスト)、内田光音(オルガニスト)、木村理佐(オルガニスト) | 目標値 | 200 |
| | | 大ホール | | 実績値 | 190 |

2. 自己評価

(1) 妥当性 (平成30年～令和3年度 4か年分)

自己評価

事業計画に必要な構成要素が有機的に連関し、当初の予定通りに事業が進められているか。

平成30年度から5年間のトリフォニーホールをめぐる動き・取り組み

| 年度 | 主な動き(トリフォニーホール・墨田区・新日本フィル) | その他 |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| 平成30年度 | 文化庁「劇場・音楽堂等機能強化推進事業(令和4年までの5年間支援) | |
| 平成31年度 | | |
| 令和2年度 | 財団の新体制 新理事長就任(令和2年7月～) 墨田区、ホール、新日本フィル三者の幹部による定例会議のスタート 墨田区議会議員との意見交換会スタート | 新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館(4月～6月) |
| 令和3年度 | 第4期指定管理期間開始(令和3年4月～令和8年3月まで) 音楽事業推進補助事業スタート 音楽事業エグゼクティブ・アドバイザー制度導入 トリフォニーホール区民モニター制度導入 | 新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館(4月～5月) |
| 令和4年度 | 墨田区基本計画改定 すみだトリフォニーホール開館25周年 新日本フィル創立50周年 佐渡裕氏、すみだ音楽大使に就任 新日本フィル・ミュージック・アドバイザー就任 (令和5年度～音楽監督) | |

当ホールは東京東部地域の音楽文化の拠点であること、日本初の本格的なフランチャイズ制度により新日本フィルハーモニー交響楽団が活動の本拠地としていることが大きな特徴である。

多彩な事業の展開を可能にするフランチャイズ・オケの存在や開館以来ホールを支えるテクニカルスタッフ、東京の東の中心地、墨田区錦糸町という恵まれた立地特性、優れた音響特性やパイプオルガン、建物と一体となったアート作品、特色ある建築設計などを生かして、質の高い事業をホール内外で展開し、すみだの地域力向上に資することを目指してきた。

墨田区が昭和63年3月に掲げた音楽都市構想を発端として、同年7月に新日本フィルハーモニー交響楽団とフランチャイズ提携を締結。平成9年には、世界屈指の音響設備を有する「すみだトリフォニーホール」をオープンし、三位一体となって事業を推進している。ホールでの上質な鑑賞事業を実施するとともに、教育機関、福祉施設等と連動した地域における音楽活動を積極的に実施し、あらゆる区民に音楽を届け、地域力の向上に努めている。

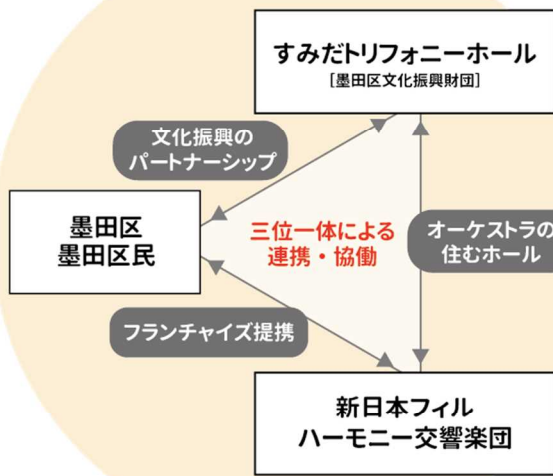
平成30年度からの4か年においても、この関係を基に事業を進めている。

■平成30年～令和3年の取り組みについて

平成30年度、令和元年度においては、施設の特性を生かして、連携を図りながら計画に沿って事業を進めていった。

令和2年度は、令和元年度末に発生した新型コロナウイルス感染拡大に伴い、4月8日(水)から6月21日(日)まで臨時休館となった。再開後も客席収容率の制限や外来アーティストの来日不可などの影響を受けたが、オーケストラのフランチャイズ制度の強みを生かして、ほとんどの事業を実施していった。同年7月に新理事長就任に伴い、三位一体の関係強化、地域の産業界などとの関係構築により、ホールの現状や、地域課題の解決事業の発展に向けた新たな事業展開を検討し始めた。令和3年度については、令和2年度の検討を具体化し、リラックス・コンサートなどあらゆる区民を対象とした事業や、学校の部活動、音楽教諭を対象したアウトリーチ事業を新たに展開しながら、ほとんどの事業を計画通り進めた。

構成要素の連関図



三位一体の組織体制によって、
連携・協働、情報共有が常日頃からおこなわれ、
事業計画時の意思決定など、スピード感を持って
効果・効率的にできる。

地域密着型企画事業
映画と音楽を楽しむ
生オケ・シネマ

文化芸術創造発信型企画事業
国内外の指揮者、ソリスト等が
集う平和祈念音楽祭

世界第一級の演奏家を招く
「スーパーソリスト
meets 新日本フィル」

ブランドイメージ形成
海外からの招聘アーティストを
活用するグレート・ピアニスト
グレート・ヴァイオリニスト等の
シリーズ企画

アウトリーチプログラム
体育館等でのコミュニティコンサート、
小中学生向けの音楽指導
福祉施設等での
ふれあいコンサート

ジュニア・オーケストラ
障害者等を招く
「誰でもコンサート」の開催

地域連携
すみだ音楽祭
すみだストリートジャズフェスティバル



《連関による注目ポイント》

・新型コロナウイルス感染拡大における迅速な対策

令和元年度末の感染拡大後、墨田区、フランチャイズ・オーケストラの新日本フィルハーモニー交響楽団との協働により、迅速な対応を進めている。

緊急事態宣言に伴う休館中の6月9日に専門医の立ち合いのもと、新日本フィルと共に感染防止対策を講じた演奏実験をおこない、再始動に向けていち早く取り組み、その実験結果を基に7月3日に演奏会を再開した。緊急事態宣言解除後も、フランチャイズの有利性を活かし、協働して感染防止対策を徹底し、数々の公演を実施することができている。

新型コロナウイルス感染拡大時での 新日本フィルと連携した取り組み

| |
|----------------------------------------------------|
| 専門医立ち合いによる 新日本フィル楽団員の演奏実験 / ガイドライン作成 |
| 利用キャンセルとなったホールの有効活用 ----- 新日本フィル活動再開のための場づくり |
| 墨田区内医療従事者、介護施設従事者を 対象に演奏会へ招待 |
| 動画によるヴァーチャルバックステージツアー |

・区内全域を対象としたアウトリーチ・プログラムの継続による実績と発展

フランチャイズ・オーケストラの新日本フィルと協働して、1988年から継続しているアウトリーチ活動については、区内に音楽などの鑑賞機会と音楽活動の場を提供することを念頭に置き、区民、ホール、新日本フィル三者がミッションを共有し、小中学校をはじめ、区内施設の利用、事業の計画、実施を三者が分担しながら事業を進めている。

長期にわたって積み重ねた信頼関係によって、新型コロナウイルス感染拡大時においても、開催時期や会場変更の調整、対策を行うことで、ほとんど事業を中止せずに進めることができています。

また、令和3年度は、さらに音楽教諭対象とした事業や、中学校の部活動への支援を、新しいアウトリーチ事業として実施し、事業の拡大を進めている。

令和3年度にあらたに導入した区民モニター制度により、区内全域のモニターに対しておこなったアンケートで、「アウトリーチ事業により、あなたご自身や、あなたの家族、友人、知人など周囲の方々の中でのエピソードや地域の変化にはどのようなものがありますか」という設問の回答をみると、

- ・アウトリーチ活動は、区内の幅広い層に生の音楽を届けており、区全体の活性化につながっている(43.9%)
- ・音楽や新日本フィルについての話題が良く出る、または良く耳にする(38.0%)

が上位を占めており、音楽がいつも身近にある生活の変化を肯定的にとらえ、アウトリーチの効果は音楽文化だけでなく、地域社会や区全体の活力を生み出していることがわかる。

自己評価

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

文化的意義:

1988年の墨田区と新日本フィルハーモニー交響楽団とのフランチャイズ提携に基づき、1989年から30年以上にわたり実施しているアウトリーチ・プログラムでは、毎年、区内の全小中学校をはじめ、学校体育館や施設等で、これまでに200,000人以上の区民へ生の音楽を届け続けており、平成30年度～令和3年度においても4年間で26,828人に対して事業をおこなっている。日常生活の中で音楽に身近に気軽に触れられる環境を提供できているといえる。

社会的意義:

これまで、教育・福祉・子育て支援などの行政課題の解決や、世代、地域を超えた人と人とのつながりを形成する事業に積極的に取り組んできた。事業がもたらした地域社会への活性化について、

令和3年度区民モニターアンケートにて「これらの事業が地域社会へどのような変化をもたらしたと思いますか」の設問に対し

「心の豊かさや生きる活力を生んでいる」(72.2%)

「教育環境の充実と子どもの成長に役立っている」(62.0%)

「まちの賑わいと憩いの場が増えている」(50.2%)

といった意見が上位を占めており、地域社会の活性化に貢献したといえる。

経済的意義:

令和3年度区民モニターアンケート結果によると、近年の文化庁による支援の取組みの効果として、「墨田区を訪れる人の増加と経済効果」(72.7%)、「墨田区や錦糸町のイメージアップ」(86.8%)となっている。また、近年住みやすい街として人気の高まる錦糸町地域や東京スカイツリー近辺に高層マンションの建設が相次いだことで、区内の人口が増加している。(人口推移 平成12年 215,979人 平成30年4月 269,815人 令和4年4月 276,800人)

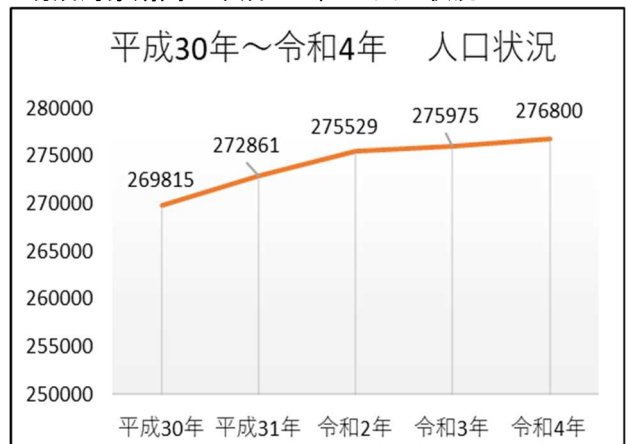
それら地域の大規模商業施設や、地元商店や企業で構成される「錦糸町を元気にする会」はじめ、商店街連合会、商工会議所などと連携し、協力関係を構築している。

人口状況



(国勢調査)

助成対象期間 平成30年～ 人口状況



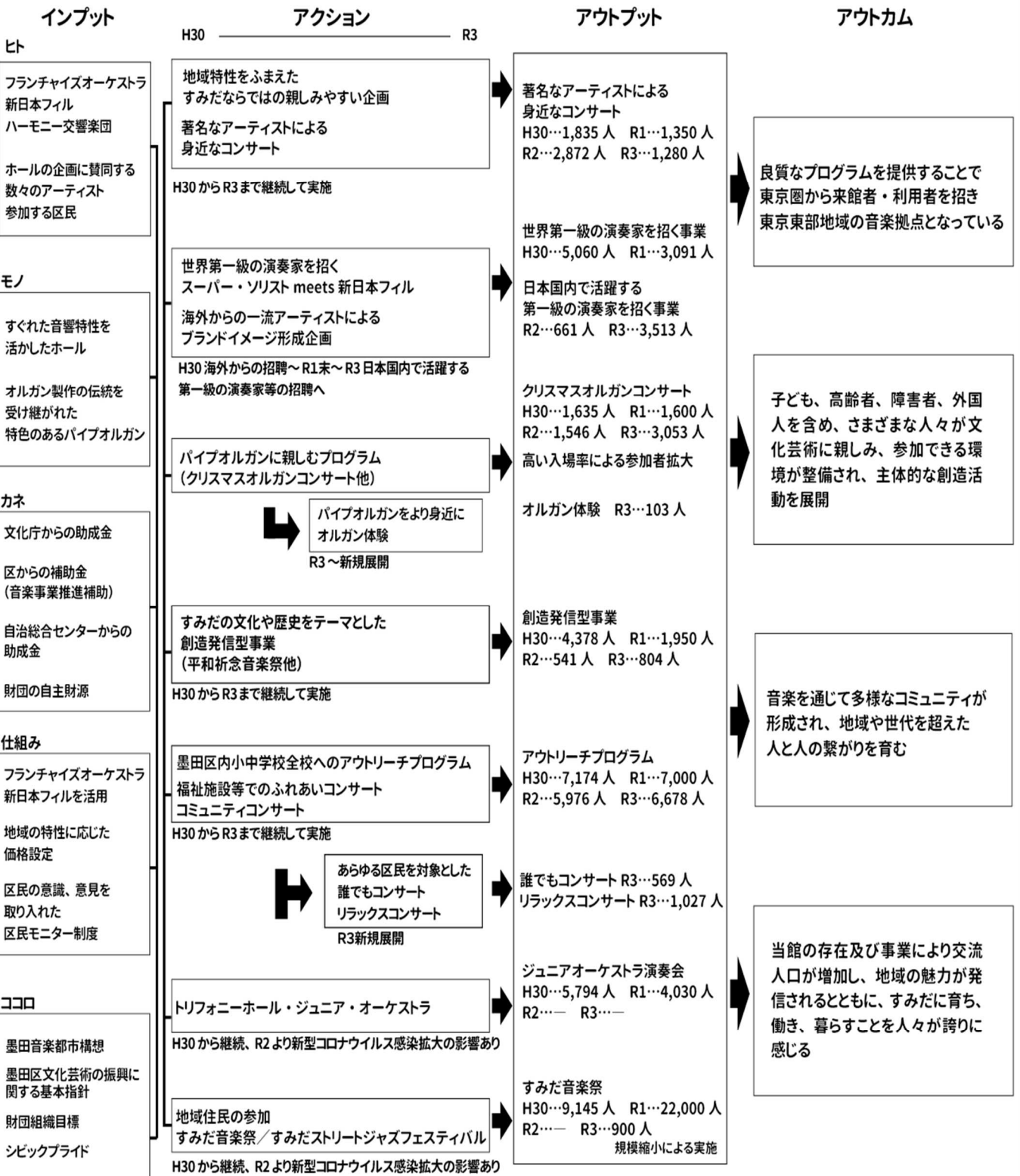
(墨田区住民基本台帳より)

(2) 有効性 (平成30年～令和3年度 4か年分)

自己評価

目標を達成し、アウトカムの発現は可能か。

●平成30年～令和3年度のロジックモデル



平成30年～令和4年度において、当初計画によるアクションプランに基づき事業を実施し、以下のようなアウトカムが発現している。

●東京東部地域の音楽文化拠点の確立

フランチャイズ・オーケストラの新日本フィルハーモニー交響楽団を活用、ホールのすぐれた音響特性を活かし、世界第一級の演奏家や、日本国内で活躍する第一級の演奏家、著名なアーティストによる身近なコンサートなど、良質なプログラムを提供することによって、錦糸町が大きくイメージアップし、開館当初に掲げた東京東部地域の音楽文化の拠点としての地位を確立している。

●あらゆる人々が文化芸術に親しみ、参加、主体的な創造活動を展開

墨田区内小中学校全校への音楽指導事業、福祉施設等でのふれあいコンサートといった、墨田区内の各地域でのアウトリーチ・プログラムを継続して実施していることにより、毎年 7,000 人程度の区民参加している。

誰でもコンサートやリラククス・コンサート等にて、ホールでの鑑賞のハードルを下げ、子ども、高齢者、障害者、外国人など様々な人の気軽な鑑賞機会の場を新たに設けている。

また、特色のあるパイプオルガンを区民に広く親んでもらうため、オルガン・コンサート&バックステージ・ツアー、身近に感じてもらうオルガン体験教室によって、芸術に触れる機会を増やしてきた。

こうした事業を広く展開したことにより、あらゆる人々が文化芸術に親しみ、参加する機会が増加している。また、すみだ音楽祭での出演や参加、子どもたちの自主的な取り組み(錦糸町を笑顔にしようプロジェクト)など、主体的な創造活動につながっている。

錦糸町を笑顔にしようプロジェクト…

錦糸小学校 3 年 2 組が新日本フィルのアウトリーチ事業に参加したことで、身近となったコンサートホールを活用した企画。総合的な学習の授業の一環として児童自らが主体となって地域の魅力を取材し、地域住民を招いて発表した。

●地域や世代を超えた人と人の繋がり

すみだの文化や歴史をテーマとして、音楽を通じて世代を繋げていく平和祈念音楽祭や、地域住民が参加するすみだ音楽祭(平成 30 年度 9,145 人 令和元年度 22,000 人)、地域住民が主体的となって演奏会を進めていくコミュニティコンサートを実施してきたことによって、地域や世代を超えた人と人の繋がりが生まれている。

●交流人口の増加と地域の魅力発信

近年のトリフォニーホール・チケットメンバーズへの入会状況を見ると、平成 29 年度の時点で 14,857 人だった会員数が、令和 3 年度には 60%増加し、23,757 人となっている。多くは墨田区民の会員増であるが、墨田区民以外の入会状況を見ると、平成 29 年が 13,604 人に対し、令和 3 年度は 21,044 人となっており 55%増加している。

また、区民モニターによるアンケートにおいて、「文化芸術が人々の暮らしにもたらす効果」について、トリフォニーホールは墨田区においてどのような効果をもたらしていると思いますか」といった設問に対し、

墨田区や錦糸町のイメージアップにつながっている…86.8%

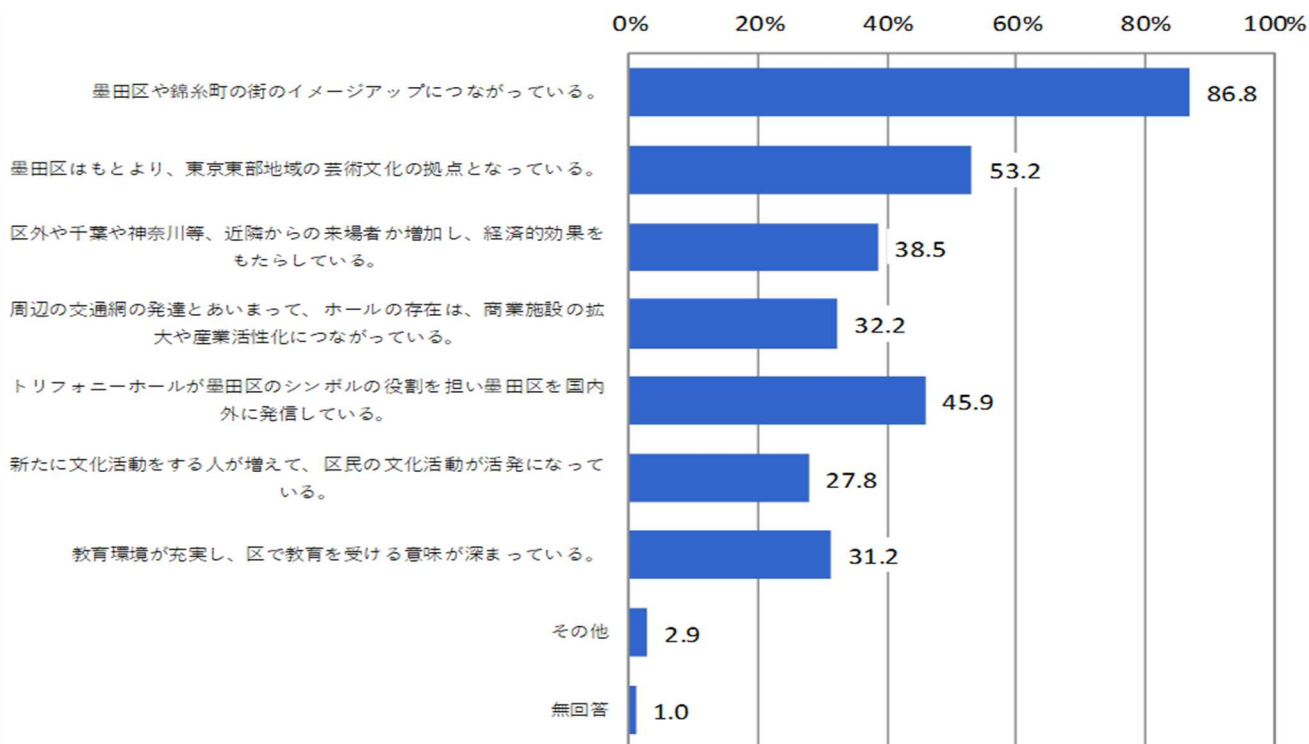
墨田区はもとより、東京東部地域の芸術文化の拠点となっている…53.2%

トリフォニーホールが墨田区のシンボルの役割を担い墨田区を国内外に発信している…45.9%

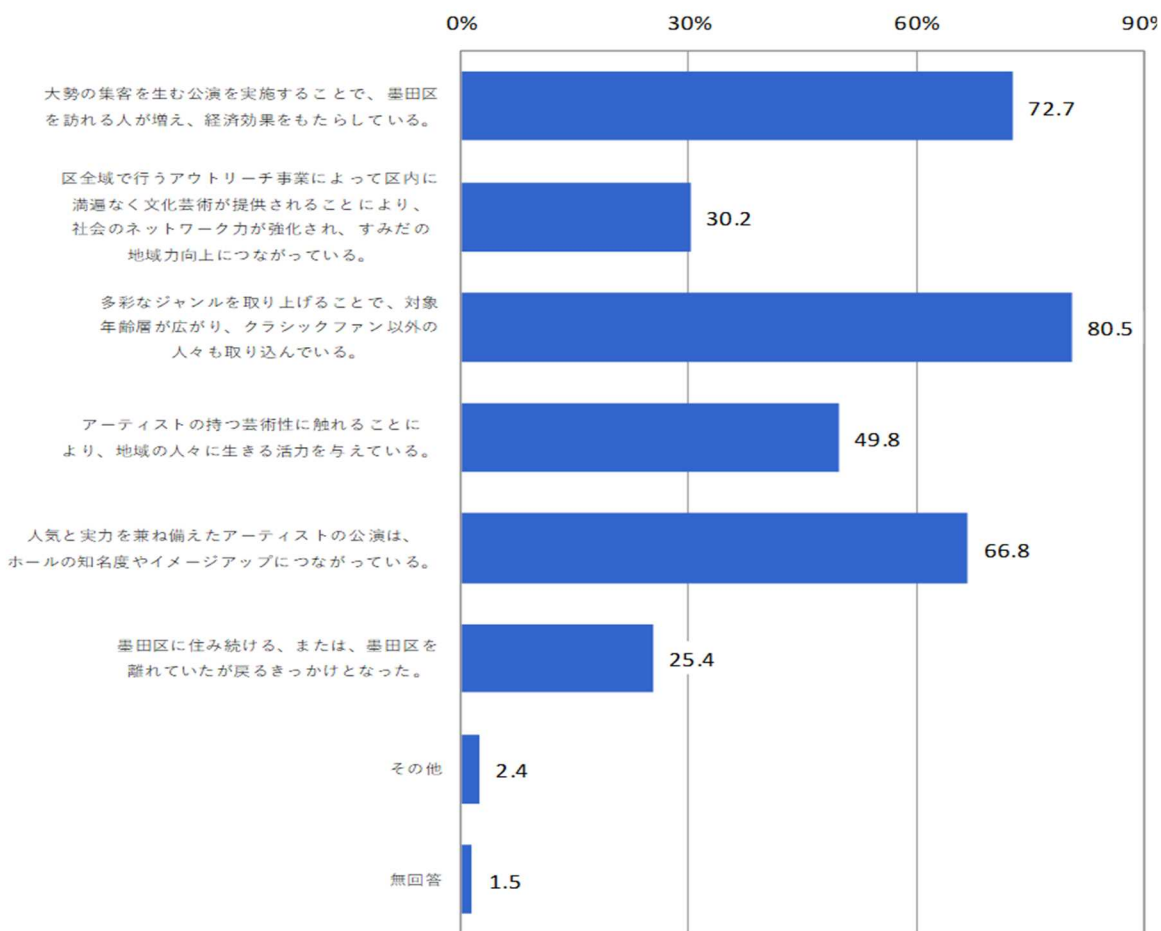
となっており、著名なアーティストによる身近なコンサート、国内外の第一級の演奏家による公演、すみだの文化や歴史をテーマとした創造発信型事業やあらゆる区民を対象としたコンサートなど様々なプログラムを提供してきた結果、交流人口が増加し、訪れたい街として墨田の魅力が向上し、墨田区や錦糸町の街のイメージアップにつながり、すみだに育ち、働き、暮らすことを人々が誇りに感じている。

<令和3年度におこなった区民モニターによるアンケート>

開館以来、トリフォニーホールは音楽都市構想の下、「区民に音楽などの鑑賞機会と音楽活動の場をつくり、芸術文化事業によって、文化的に豊かなまちづくりをめざす」ことを目的に事業を展開してきました。現在、トリフォニーホールは墨田区においてどのような効果をもたらしていると思いますか。(複数回答可)



文化庁の支援による近年の取り組みについて、どのような効果が生まれましたか(複数回答可)



(3) 効率性 (平成30年～令和3年度 4か年分)

自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んでいるか。

■公演の実施状況(平成30年度～令和3年度)

| 年度 | 申請事業数 | 実施状況 | 新型コロナウイルス感染拡大の影響 |
|-------------------|-------|----------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成30年度 | 15事業 | 公演事業 5月26日～3月13日 アウトリーチ・プログラム 6月12日～3月15日 | |
| 平成31年度 (令和元年度) | 15事業 | 公演事業 5月25日～1月20日 アウトリーチ・プログラム 7月8日～3月19日 | 影響を受けた事業：1事業 └中止となった事業：1事業 |
| 令和2年度 | 15事業 | 公演事業 8月10日～3月17日 アウトリーチ・プログラム 7月13日～3月30日 | 休館：4月8日～6月21日 影響を受けた事業：14事業 └収容率制限の影響を受けた事業：3事業 └内容を変更して実施した事業：8事業 └中止となった事業：3事業 |
| 令和3年度 | 18事業 | 公演事業 6月29日～3月12日 アウトリーチ・プログラム 6月2日～3月8日 | 休館：4月25日～5月11日 影響を受けた事業：9事業 └内容を変更して実施した事業：7事業 └中止となった事業：2事業 |

平成30年度は公演事業においては5月26日から新日本フィルの生オケ・シネマに始まり、3月13日に平和祈念音楽祭にて、ダニエル・ハーディング & マーラー・チェンバー・オーケストラを開催、アウトリーチ・プログラムは6月12日に始動し、3月15日まで55か所でおこない、概ね計画通りに進んでいる。

平成31年度(令和元年度)は、公演事業として新日本フィルの生オケ・シネマを5月25日に開始したが、年度末に国内で新型コロナウイルスによる感染が発生、拡大により、3月に開催予定の平和祈念音楽祭が中止となった。アウトリーチ・プログラムは、7月8日から3月19日までの間46か所にておこなっており、新型コロナウイルス感染拡大の影響をほぼ受けずに実施できた。

令和2年度は前年度より新型コロナウイルス感染拡大が続き、緊急事態宣言のもと4月8日～6月21日までの間臨時休館となった。再開後、7月8日～3月19日までの期間に事業を実施したが、ほぼすべての公演事業に収容率制限や日程変更、出演者変更等の影響が出ている。その影響下においてもフランチャイズの有利性を活かし、新日本フィルと協働して事業再開に向けた取り組みを早期より進め、感染対策を徹底して演奏会を再開することができた。また予定されていたほとんどの事業を実施し、3事業の中止に留めた。また、アウトリーチ・プログラムについては、新日本フィルと共に、学校や福祉施設等との丁寧な打合せ、感染症対策を会場に合わせて行うことで、7月13日～3月30日の間、55か所、ほぼ計画通りに実施できている。

令和3年度は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響があり、4月25日～5月11日に臨時休館となったが、公演事業は6月29日～3月12日までの間に開催した。前年度の経験を生かしてフランチャイズ・オーケストラなどときめ細かな調整をしていくことで、2事業の中止に留めている。アウトリーチ・プログラムは6月2日～3月8日で52か所開催し、概ね計画通りに進めることができた。

以上のことから、平成30年～令和3年の4年間は、途中から新型コロナウイルス感染拡大の影響があったものの、日程変更や出演者の調整、代替公演の実施など、様々な創意工夫を図り、事業の中止を最小限に留めている。

また、アウトリーチ・プログラムについては、フランチャイズ制度を活かした長年の活動実績による信頼関係によって、コロナ禍においても概ね計画通り事業を進められている。

自己評価

アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んでいるか。

平成 30 年度については、公演事業は 42,200 人の目標値に対し、33,948 人の実績となっている。アウトリーチ・プログラムについては、8,000 人の予定に対し 7,174 人であった。

平成 31 年度については、公演事業 38,801 人の目標値に対し、37,777 人の実績となった。すみだ音楽祭の入場者数大幅増などによって、目標を超える実績値を想定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により平和祈念音楽祭が中止となり集客に影響がでている。アウトリーチ・プログラムの参加は 8,000 人の予定に対し、7,000 人となっている。

令和 2 年度は、前年度より新型コロナウイルス感染拡大が続き、収容率制限、チケット販売期間等制限の影響を受け、集客が伸び悩むこととなった。また、区民を中心としたすみだ音楽祭が中止となり、公演事業の入場者数は 24,960 人の目標値に対し、7,552 人に留まることとなった。アウトリーチ・プログラムは計画当初は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、規模を縮小して計画せざるを得ないと想定していたが、フランチャイズ制度の強みを生かし、これまでの事業実績を基に関係各所が強固な協力体制を築いてきたことにより、ほとんど中止をせずに開催でき、5,000 人の目標に対し 5,976 人が参加し目標を超える実績を残すことができた。

令和 3 年度は、令和 2 年度と同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた。公演等の事業は 26,540 人の目標値に対し、11,636 人の実績値となっている。そうした状況下において、来日できない海外のアーティストに代わる魅力的な国内アーティストを起用、日本国内での移動規制がかかっている中で地元住民をターゲットとした広報展開など、コロナ禍での創意工夫をした結果、多くの区民の来場につながった公演もあった。アウトリーチ・プログラムは、7,400 人の参加者予定に対し、6,678 人となっている。

平成 30 年度～令和 3 年度の 4 年間についてみると、各年度の入場者、参加者は当初計画における想定とは異なり結果的に令和元年度に発生した新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けることとなった。こうした状況下にあったが、各々の公演については日程変更や出演者調整、代替公演の実施などの創意工夫を図り、集客に努めて、一定の成果を上げた。

一方、アウトリーチ・プログラムは、すみだ独自のフランチャイズ制度によって長年にわたって積み重ねてきたノウハウや関係者の信頼関係により、概ね計画通りに進んでいる。

(4) 創造性 (平成30年～令和3年度 4か年分)

自己評価

事業計画の内容が、独創性、新規性、先導性に優れている(と認められる)か。

■フランチャイズ・オーケストラ 新日本フィルハーモニー交響楽団の存在

昭和63年に墨田区と新日本フィルハーモニー交響楽団(以下新日本フィル)との間で締結した我が国初のフランチャイズ提携に基づき、同楽団はすみだトリフォニーホールを活動拠点として音楽芸術を発信し地域への貢献に尽力している。締結以来、オーケストラが「住む」トリフォニーホールは、新日本フィルと協働で多彩な公演を実施するとともに、区内全域の小中学校や保育園、福祉施設、コミュニティセンターなど、さまざまな場でアウトリーチ活動を行い、多くの区民が音楽に出会える環境を創出してきた。フランチャイズ・オーケストラ制度がルーツとなり、ホール、オーケストラ、区民が三位一体となった「芸術文化の創造」および「地域社会への還元」という先導的な取り組みを行ってきた。

平成31年から感染拡大している新型コロナウイルスの影響により事業の実施に制約を受けたが、そのような状況の中でもフランチャイズ・オーケストラである強力なパートナー、新日本フィルとの協働事業においては、出演者の変更や実施時期の見直しなど感染拡大防止に最大限配慮しながら区民が音楽芸術に触れる機会を積極的に提供した。全国に先駆けて導入したフランチャイズ制度の強みが発揮されたといえる。また令和4年4月より新日本フィルのミュージック・アドバイザー(令和5年4月から音楽監督就任)に佐渡裕氏が着任した。墨田区の「すみだ音楽大使」の任命も受け、今後、ホール、オーケストラ、区民の三位一体がさらに強化されすみだの魅力を国内外へ発信するキーパーソンとして大きな期待が寄せられている。

■新日本フィルとの独創性、新規性に優れた取り組み

関東大震災や東京大空襲で甚大な被害を受けた墨田区のホールの使命として開館当初から実施している「すみだ平和祈念コンサート」は、関連事業にアウトリーチ・プログラムを用意している。指揮者自らが積極的にアウトリーチに参加していることが特筆すべき点であり、令和元年に新日本フィルの前音楽監督上岡敏之氏が区立小学校でピアノを演奏し、令和3年3月には東武博物館において秋山和慶氏が空襲の体験者として平和の尊さを語り、令和4年3月には下野竜也氏が新日本フィル楽員とともに区立小学校2校に出向き、児童に向けて平和と音楽の重要性を伝えている。

また「音楽の魅力発見プロジェクト」は、指揮者下野竜也氏によるレクチャーと演奏が楽しめる内容として2013年より毎年実施している人気シリーズである。ベートーヴェン全交響曲の第一楽章のみを演奏し作曲家の生涯を音楽で理解する企画や、NHK大河ドラマのテーマ曲に着目して作曲家の意図を探るなど、独創的な展開が毎回話題を呼んでいる。区民モニターアンケートにおいても「さらに機会を増やすなど積極的に実施すべき」「今後も今の内容で実施すべき」「創意工夫を加えながら実施すべき」などの継続実施を希望する声が96.6%に上るなど、高い評価を受けている。

障害者も乳幼児も高齢者も、誰もが一緒にコンサートを鑑賞できる「ようこそ！誰でもコンサート」や、産前産後の育児支援を目的に、子育てに関わる全ての世代に向けてリラックスできる音楽芸術を届ける「お腹の赤ちゃんも、ちびちゃんも、お父さんお母さんも…みなさん、『ようこそ！リラックス・コンサート』」などは、近年増えている子ども向けコンサートとは一線を画した独創性に優れた公演として大きな反響があった。これらの公演では「SOUND HUG」(サウンドハグ)、手話通訳や字幕、UDトーク、コミュニケーションボード(指さし案内表)を整備するなど、聴覚に障害のある方にも音楽を体感できる新規性、先導性の高い内容に取り組んだ。

■コロナ禍で生まれた新たなアウトリーチ・プログラムの拡充

すみだトリフォニーホールが墨田区立全小中学校と30年以上蓄積してきた信頼関係を生かし、コロナ禍における音楽の授業を支援する新たなアウトリーチを実現した。歌唱、リコーダー、ピアノの演奏ができず、授業が鑑賞に偏っている状況の中、東京文化会館と連携し区立全小中学校の音楽教員に向けた「音楽づくりワークショップ」を実施した。

(4) 創造性 (平成30年～令和3年度 4か年分)

自己評価

事業計画の内容が、独創性、新規性、先導性に優れている(と認められる)か。

ワークショップリーダーの指導を受けた教員からは今後の音楽の授業に役立つ内容として大変好評であった。次年度以降は児童生徒向けにも実施し、長年にわたり地域に密着した関係を築き上げてきた当ホールのアウトリーチ・プログラムならではの新たな展開として進めていきたい。

■歩みを止めない新日本フィルのアウトリーチ活動の先導性

平成元年より墨田区内での活動をスタートさせたアウトリーチ・プログラムは30年以上にわたり継続され、現在、区立小中学校全36校、高齢者施設、障害者施設、児童館、墨田区役所等約18か所など、区内のすべての区立小中学校や各種施設で実施している。その活動量と継続性は他に類を見ない圧倒的な実績を誇る。新型コロナウイルスの影響により令和元年度には8か所の中止が余儀なくされたが、令和2年度は十分な感染対策を講じた結果、中止はわずか1か所にとどまり、令和3年度には予定していたすべてのアウトリーチ・プログラムを実施することができた。学校や施設の多くの行事が中止となる中、安全第一を目標に工夫した結果であり、長年のアウトリーチ活動により蓄積された地域との信頼関係がより強固なものとして確立された。いかなる困難な状況においても歩みを止めないアウトリーチ活動は、今後さらに可能性を広げ進化する事業として先導性を見出すことができる。

■音楽ホールが開拓する伝統芸能、話芸の新規性

助成対象事業の新規展開として、これまであまり取り上げてこなかった伝統芸能分野から歌舞伎をはじめ、講談、漫談などの話芸にも焦点を当てて実施した。令和元年「尾上菊之助×新日本フィル」では墨田区寺島地区にルーツを持つ歌舞伎役者の尾上菊之助が、第一部では本格的な歌舞伎衣装を纏い幻想的な鷺娘を舞い、第二部の新日本フィルによるチャイコフスキー「白鳥の湖」演奏では語りとしてドラマティックな二羽の白き鳥を演じた。アコースティックなコンサートでの音響の良さには定評があるが、拡声すると明瞭に届けることが難しいとされてきた音声についても、全席にて遜色なく聞こえることが明らかになり、ホールにおける今後の事業展開の新たな可能性を引き出した。区民モニターアンケートでも98.3%がシリーズ企画として継続実施を望んでいる。

■SDGsの掲げる「誰一人取り残さない」独創性、先駆的な取り組み

「バックステージ・ツアー&オルガン・コンサート」は当初は視覚障害者、車いす利用者、一般参加者を対象としていたがSOUND HUG(サウンドハグ)などの活用により多様性を受容する内容へと進化させ、令和3年度には聴覚障害学級の児童、肢体不自由学級の児童生徒が参加するまでに発展した。

平成30年度、令和元年度は1日1公演だった「パイプオルガン・クリスマスコンサート」は、早々にチケットが売り切れる人気公演であったため、令和2年度より未就学児向け「0歳からのオルガン・コンサート」、一般向け「しっかりじっくりオルガン・コンサート」の2本立てにし、日本最大級のパイプオルガンの魅力を幅広い世代に伝えることが可能となった。

先述の「赤ちゃんも、障がいのある方も、みんなみんな、ようこそ！誰でもコンサート」、「お腹の赤ちゃんも、ちびちゃんも、お父さんお母さんも…みなさん、『ようこそ！リラックス・コンサート』」公演も含め、墨田区が取り組んでいる「暮らし続けたいまち」「働き続けたいまち」「訪れたいまち」の実現に向け、また、SDGsの掲げる「誰一人取り残さない」をテーマにした、すみだならではの先駆的な事例と言える。

(4) 創造性 (平成30年～令和3年度 4か年分)

自己評価

事業計画の内容が、独創性、新規性、先導性に優れている (と認められる) か。

■一流アーティストと新日本フィルの出会いがもたらす先導性

令和3年6月「トリフォニーホール・グレート・ブラス&ウィンズ・シリーズ中川英二郎 × エリック・ミヤシロ × 本田雅人 SUPER BRASS STARS meets 新日本フィル」および同年8月「新日本フィル・シンフォニック・ジャズ・コンサート Special guest 上原ひろみ」では、世界的に活躍する日本人アーティストと新日本フィルの融合が相互を高め合いそれぞれの魅力を新たに引き出すことに成功した先導性のある企画であった。

「新日本フィル・シンフォニック・ジャズ・コンサート Special guest 上原ひろみ」公演来場者アンケートより「ジャズとクラシックの融合をテーマにした演奏会はほとんど見かけないので興味深く面白かった。上原ひろみと新日本フィルの組み合わせが素晴らしいパフォーマンスを生み出し会場一体となって楽しめた。」

本公演の満足度については、「とても良かった」「良かった」を合わせると98%を超え、満足度の高い公演となった。

■先導的な「体験」が深める音楽の魅力、楽器の魅力

令和31年8月に実施した「ソッリマと100人のチェリストたち」は、参加した100名近いチェリストとともに3日間かけて本番公演を作り上げる画期的な取り組みであった。世界的チェリストのジョバンニ・ソッリマ、エリンコ・メロツィを招聘し、全国から公募による10歳から80歳までのプロやアマチュアのチェロ奏者約129名が、リハーサルからソッリマらとともに音楽を創り上げる体験を経て本番を迎えた。参加者には地元奏者もあり、そのネットワークを生かしてフリーペーパーに、リハーサルから本番までの様子がリアルタイムで連載された。ソッリマの唯一無二の自由な音楽表現に触発され、参加者は生き生きと音楽の喜びを表現し、熱狂的なステージとなった。この取り組みは、弦楽器マガジン『サラサーテ』に特集が組まれるなど数多くのマスメディアや参加者らのSNS発信により大きな話題となり、次回公演を熱望するほどの反響があった。

トリフォニーホールのパイプオルガンを区民が体験できる「オルガン体験教室 for すみだ」を令和2年度よりスタートさせた。パイプオルガン未経験者でも気軽に参加できる「1日体験コース」と、ひとつの曲とじっくり向き合い、数回のレッスンを経て発表試演会まで行う「じっくり体験コース」の2種類のコースがあり、毎回応募が殺到し抽選にて選ばれた区民が体験している。いずれの参加者にとっても「鑑賞する楽器」から「演奏する楽器」へと変わり、パイプオルガンを通して区民とホールの距離が縮まった。要望に応え参加人数を増やす取り組みを行うなど、区民の財産でもあるパイプオルガンをもっと身近に感じてもらう事業に大きな期待が寄せられている。

すみだの子ども向け「じっくり体験コース 夏休み自由研究スペシャル！」保護者のアンケートより「こんなに大きくて素晴らしいホールの中のパイプオルガンに触れる機会があるなんて、とても信じられず、この夏は本当に貴重な経験をさせていただきました。しかも保護者もそばで実際に触れることもでき、オルガンの裏側も見せていただきとても興味深く楽しい時間を過ごせました。本人は毎日とても興奮しながら家でオルガンの話をしていました。鍵盤が3段あることや、鍵盤の色が白黒反転しているとか、いろいろな気づきがあってとても楽しんでいる様子でした。」

自己評価

事業の実施によって、当該劇場・音楽堂等の国内外での評価の向上につながっている（と認められる）か。

■コロナ禍における地域住民からの評価向上

当ホールは、伝統文化の息づく墨田区の音楽ホールとして、国内外から来館者・利用者に広く知られる存在となっている。また助成対象事業の実施によって、地域の子ども、高齢者、障害者、外国人を含め多様な人々が文化芸術に親しみ、参加できる環境が整備され主体的な創造活動が展開されている。音楽芸術を通じて多様なコミュニティが形成され、地域や世代を超えた人と人とのつながりが育まれており、ホールを拠点として交流人口が増加し、すみだの魅力が発信されている。すみだに育ち、働き、暮らすことを人々が誇りに感じている。

令和2年度はコロナ禍で様々な制約を受けた。不要不急の外出や長距離の移動を控えるよう要請が出されると、近隣で楽しめるイベントへのニーズが高まり多くの地域住民が来場した。当ホールが実施した親しみやすい公演が身近なホールで開催されたことで、墨田区をはじめとする地域住民のニーズに合致したと考えられる。感染症対策を徹底し、いち早く市松配席を採用するなど来場者が安心して鑑賞できる環境を整備した上、近隣の商店街とのタイアップなどで地元積極的にアピールし、新日本フィルと一体となって早期に公演を再開したことは、来場者アンケートに「久しぶりに楽しい時間を過ごせました」といった声が寄せられるなど、ホールへの評価向上につながったと考えられる。

令和3年度の来場者の居住地は、墨田区民が半数近くに上るうえ、7割以上がホール周辺地域からの来場となり、引き続きコロナ禍における地元志向および区民の支持を得ていると考えられる。また、ホールに対する満足度は「たいへん満足している」「満足している」を併せて98%と高い数値であった。

墨田区および周辺地域からの来場者の割合

平成30年度 51%[墨田区:25% 周辺区(江東区・台東区・足立区・葛飾区、江戸川区):10% 千葉県:15%]

令和2年度 69%[墨田区:33% 周辺区(江東区・台東区・足立区・葛飾区、江戸川区):19% 千葉県:17%]

令和3年度 71%[墨田区:49% 周辺区(江東区・台東区・足立区・葛飾区、江戸川区):14% 千葉県:8%]

■事業実施における評価

「すみだ平和祈念音楽祭」

ホール開館以来毎年開催している平和祈念音楽祭。関東大震災と東京大空襲という二度の惨禍を経験した墨田区にとって、毎年、特別な意味をもつ3月に「すみだ平和祈念音楽祭」公演を開催している。惨禍により最大の犠牲を出した墨田区に建つコンサートホールとして、平和の尊さを音楽を通して国内外に伝えていくための重要なシリーズ企画である

・毎日新聞 平成31年3月25日掲載

ハーディング[指揮] マーラー・チェンバー・オーケストラ

「終了後に生じた長い長い沈黙の祈りは、「すみだ平和祈念音楽祭」の最終日でもあったこのコンサートの精神を、改めて聴衆に問いかけた。」

・朝日新聞 令和3年3月11日掲載

秋山和慶[指揮] 新日本フィルハーモニー交響楽団

指揮を務めた秋山和慶の自身の戦争体験を踏まえた平和へのコメント、この公演をはじめ当ホール主催ならびに新日本フィル主催の公演で実施した墨田区内の医療従事者、介護施設従事者への招待事業について掲載され高く評価された。

「トリフォニーホール《ゴルトベルク変奏曲》シリーズ」

2006 年にスタートした、JS バッハの名曲「ゴルトベルク変奏曲」に、アーティストが思い思いの楽曲を組み合わせプロ
グラムを構成する新規性に富んだシリーズ企画。現在まで 13 人のアーティストが出演し、様々な楽器による名演を聞か
せている。

・朝日新聞 平成 30 年 12 月 17 日掲載

マハン・エスファハニ[チェンバロ]

川瀬賢太郎[指揮] 日本センチュリー交響楽団

「やや硬質のクリアな響きは現代的。終盤にかけて、快速な曲はさらに速度を上げた。30 の変奏すべてでよく
遊んだ。」

「ようこそ！リラックス・コンサート」

令和 3 年にスタートした新企画。音楽文化を通じて、教育・福祉・子育て支援など、さまざまな行政分野における課題の
解決に寄与することを目的に、シリーズ公演として実施していく。

・読売新聞 令和 3 年 11 月 21 日掲載

和田一樹[指揮] 中須美喜[ソプラノ] 新日本フィルハーモニー交響楽団

妻と 2 歳の長女と参加した記者自身の体験を記事にした。会場にはベビーカーが溢れ、まるで公園のような雰
囲気。演奏中は子どもの泣き声すら誰も気にしない文字通りリラックスしたコンサート。親子で笑顔になれるオーケ
ストラ・コンサートと高く評価された。

■公式サイト、公式 SNS などの状況

ホールの無料メルマガ会員組織「トリフォニーホール・チケットメンバーズ」について、墨田区民の新規加入者は例年
150 人程度で推移してきたが、令和 2 年度は 2 倍を超える 400 人以上、令和 3 年度は、900 人以上の新規加入があっ
た。区民ニーズに応える公演を増やしトリフォニーホールが地域住民に浸透した結果と言える。公式サイト、Facebook、
Twitter の利用者数は新型コロナウイルスの影響で一旦落ち込んだものの、令和 3 年度になり右肩上がりに増加してい
る。

・ホール公式サイト

ユーザー数： 266,398 / 令和元年 4 月-令和 2 年 3 月

129,818 / 令和 2 年 4 月-令和 3 年 3 月

274,308 / 令和 3 年 4 月-令和 4 年 3 月

ページビュー数：1,281,589 / 令和元年 4 月-令和 2 年 3 月

665,690 / 令和 2 年 4 月-令和 3 年 3 月

1,125,282 / 令和 3 年 4 月-令和 4 年 3 月

・ホール公式 Facebook

いいね数：4,143 / 令和 3 年 3 月

4,328 / 令和 4 年 3 月

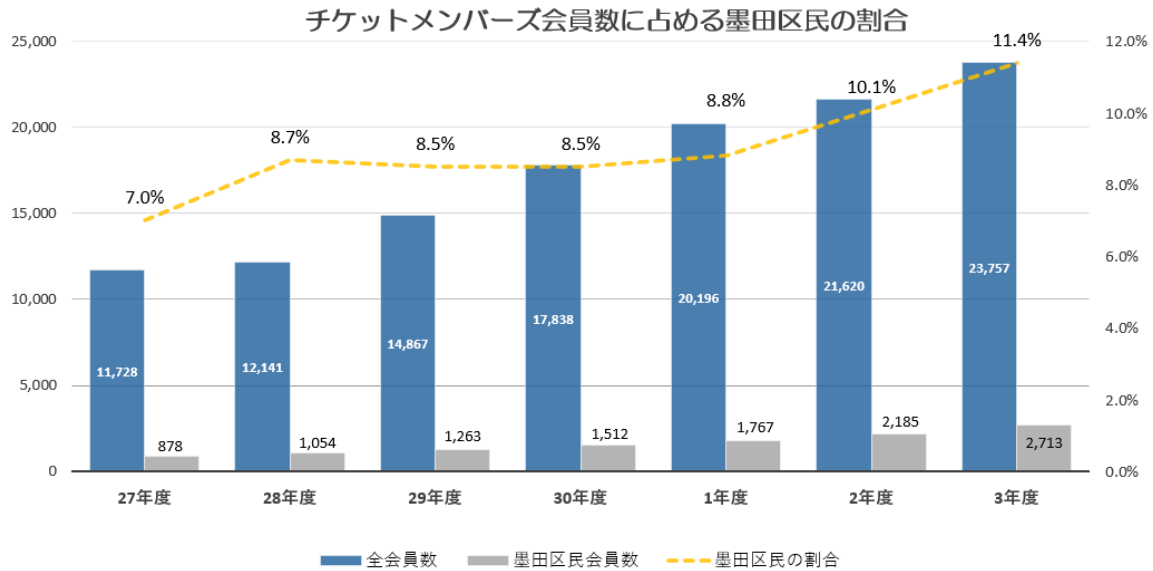
・ホール公式 twitter

フォロワー数：6,238 / 令和 3 年 3 月

6,904 / 令和 4 年 3 月

・トリフォニーホール・チケットメンバーズ(無料のメールマガジン会員)

会員数: 17,838 人/うち区民 1,512 人/令和元年 3 月
 20,196 人/うち区民 1,767 人/令和 2 年 3 月
 21,620 人/うち区民 2,185 人/令和 3 年 3 月
 23,757 人/うち区民 3,124 人/令和 4 年 3 月



会員数一覧表

| 年度 | 会員数 割合 | 合 計 | 地域別 | | | | | | | | | | |
|------|-----------|--------|-------|-------|------|------|------------|-----------------|-------|----------|---------|---------|-----------|
| | | | 墨田区 | 江東区 | 葛飾区 | 江戸川区 | その他 23区 | 23区 以外 都内 | 千葉県 | 神奈川 県 | 埼玉 県 | 茨城 県 | その他 の県 |
| 3年度 | 会員数 | 23,757 | 2,713 | 1,001 | 408 | 636 | 6,527 | 1,852 | 3,430 | 2,670 | 1,869 | 414 | 2,237 |
| | 割合 | | 11.4% | 4.2% | 1.7% | 2.7% | 27.5% | 7.8% | 14.4% | 11.2% | 7.9% | 1.7% | 9.5% |
| 2年度 | 会員数 | 21,620 | 2,185 | 887 | 374 | 556 | 6,109 | 1,634 | 3,148 | 2,462 | 1,747 | 383 | 2,135 |
| | 割合 | | 10.1% | 4.1% | 1.7% | 2.6% | 28.3% | 7.6% | 14.6% | 11.4% | 8.1% | 1.8% | 9.7% |
| 元年度 | 会員数 | 20,196 | 1,767 | 800 | 349 | 499 | 5,687 | 1,596 | 3,001 | 2,373 | 1,659 | 371 | 2,094 |
| | 割合 | | 8.8% | 4.0% | 1.7% | 2.5% | 28.0% | 7.9% | 14.9% | 11.8% | 8.2% | 1.8% | 10.4% |
| 30年度 | 会員数 | 17,838 | 1,512 | 696 | 310 | 450 | 4,972 | 1,434 | 2,641 | 2,146 | 1,480 | 335 | 1,862 |
| | 割合 | | 8.6% | 3.9% | 1.7% | 2.5% | 27.9% | 8.0% | 14.8% | 12.0% | 8.3% | 1.9% | 10.4% |

■トリフォニーホール区民モニター

トリフォニーホールが実施する事業について、区民の幅広い視点から客観的な評価を得るために、令和 3 年度よりトリフォニーホール区民モニター制度を導入した。年齢や居住地のバランスを考慮して選出し、令和4年度はさらに規模を拡大し、調査結果の信頼性や有効性を高めていく。今後は区民モニターとの連携をより深め、効果的なネットワーク展開へとつなげていく。

■トリフォニーホール紹介動画

「新日本フィル編」「パイプオルガン・舞台機構編」「アート作品編」の 3 作品を制作して、コロナ禍でもホール探検ができるヴァーチャルバックステージツアーとしてウェブサイト上で公開した。

特にパイプオルガン編については動画を見た埼玉県の中学校で音楽授業の教材として活用された。

(5) 持続性（平成30年～令和3年度 4か年分）

自己評価

事業計画を通じて組織活動が持続的に発展する（と認められる）か。

■4年間を通じての組織活動の変化

【事業運営の変化した点】

これまでの事業の計画フォーマットを見直し、実績と課題、他施設での事例などのエビデンスを取り入れた計画を進めるようになってきている。ここ最近ではすみだの地域力の向上を目指し、地域社会の変化や行政課題の解決のための事業により一層力を入れており、区民のニーズに応じた事業づくりに努めるようになってきている。

令和元年度末より発生した新型コロナウイルス感染拡大において、墨田区保健所の協力にて、新日本フィルハーモニー交響楽団団員にPCR検査試験を実施し、活動再開に向けた対策をおこなった。

令和3年度から、多くの客観的な事実を得るため、区民を対象としたモニター制度を導入し、多くの区民から意見を集約し、事業運営に活かしている。

【経営戦略の変化した点】

あらゆる区民を対象とした事業の拡大を展開するにおいて、区への働きかけによって、音楽事業推進補助として新規事業を開発、承認され、新たな自主財源の獲得に努めている。

新型コロナウイルス感染拡大時においては、墨田区との協議のもと、減収した利用料金の補填を得ることによって、財政状況の安定に努めた。

【人事戦略の変化した点】

令和2年度より新理事長が就任、中長期にわたるホールの展開・発展を見据え、区・新日本フィルとの情報連絡の場や、様々な新しい取り組みがスタートしている。トリフォニーホールで実務経験を持つ人材をエグゼクティブ・アドバイザーとして登用し、そのノウハウや指導による職員のスキル向上、専門的人材育成の強化を図っている。また組織全体で職員個別に目標管理制度を取り入れ、自己評価を各々がおこない目標に向かうことで、組織力の強化を図っている。また、ホール業務に精通している人材を内部登用し、人材の専門能力を高め持続性を向上させている。

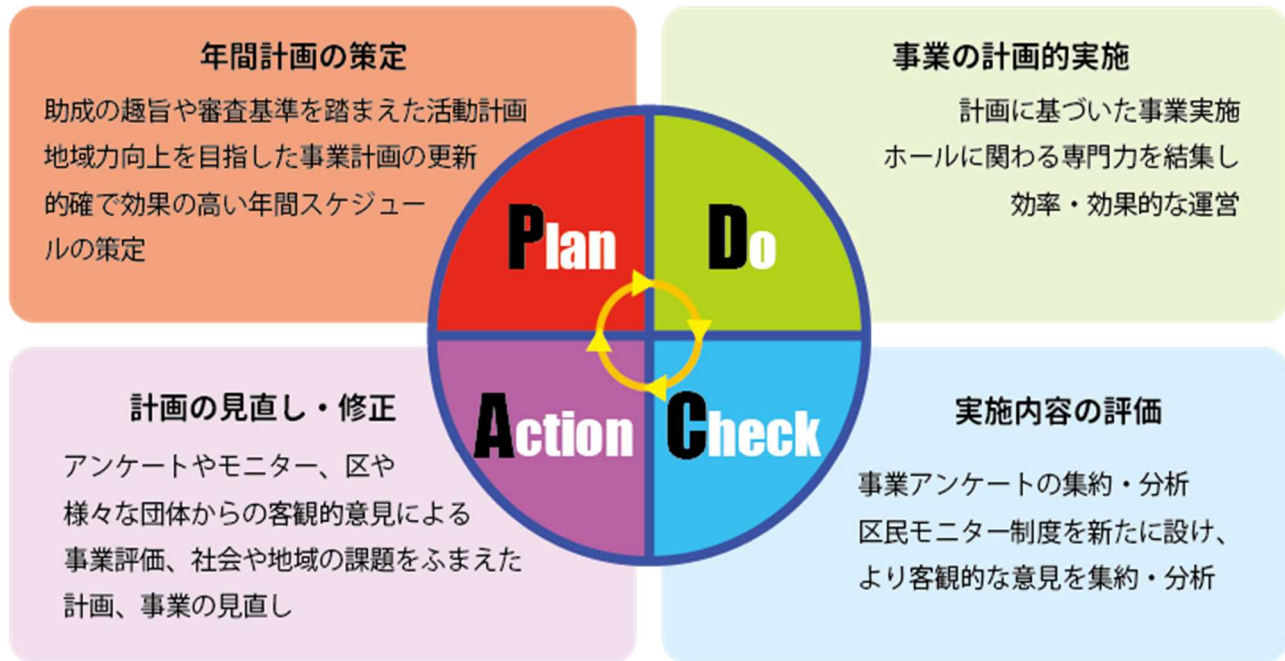
【ネットワーク構築の変化した点】

これまで、コンサートホール企画連絡会議にて同類施設間での事業実施における情報共有や相談をおこなってきた。昨年度よりアウトリーチ・プログラムの新規展開を図るため、近隣施設との事業連携し具体的な事業協力をおこない、これまで自館のみではできなかったプログラム作りに取り組むことが可能となっている。

新理事長による連携強化体制づくりの一環による、区、ホール、新日本フィル3者による会議の定例化や、地域企業とのネットワーク構築をはじめ、アドバイザーによる他ホールの情報提供や事業連携など、様々な角度をもってネットワークづくりが進んでいる。

地元墨田区民に一層支えられるホールを目指すとともに、墨田区や区議会といった行政および議会の理解、区内で活動する様々な団体との連携を強化し、計画に反映していくための戦略的な広報を展開し、新たなコミュニケーションによってさらに客観的な意見を取り入れ、内容を基に計画、実行を進めている。

[PDCAサイクル]



新型コロナウイルス感染拡大に伴い事業の変更を余儀なくされたが、この社会情勢の変化に応じて、遠方ではなく地域住民への参加拡大を促すことが地域力向上につながると捉え、墨田区民が親しみやすい企画、あらゆる墨田区民を対象とした事業を新たに計画し実施した。

この結果を含め、社会情勢の変化やホールの来場時における周囲の方々の嗜好の状況、地域課題や要望などのPDCAのサイクルに落とし込み、事業を推進している。

自己評価

持続的なアウトカムの発現・定着が期待できるか。

すみだトリフォニーホールは「オーケストラのフランチャイズ制度と三位一体の展開」、「専門性を持ったプロ意識の高いスタッフの継続的な活動によるホールの総合力」、「利用者の声を反映する新たな仕組みの活用」という、すみだならではの3つの強力な独自のツールを持っている。

これらをさらに充実、発展させることで、以下のような持続的なアウトカムの発現、定着が期待でき、「すみだ」の地域力の向上が図られる。

○開館以来のミッションである東京東部地域の音楽文化の拠点

○地域や世代を超えた人と人との多様なつながりの充実

○子ども、高齢者、障害者、外国人などあらゆる人々が文化芸術に親しみ、主体的な創造活動を展開する

○ブランド力の向上による、錦糸町のイメージアップと交流人口の高まり

※すみだならではの3つの強力な独自のツールについて

① オーケストラのフランチャイズ制度と三位一体の展開

昭和63年に墨田区と新日本フィルとの間で締結した我が国初のフランチャイズ提携は、芸術創造と地域社会の協働による新たな試みとしてスタートしたものであり、ホール、オーケストラ、区民が三位一体となって展開する、すみだ独自の仕組みはホール運営の基軸となっている。音作りの一貫性の成果となる多彩な公演、圧倒的な実績を積み重ねたアウトリーチ事業により、ホールのブランド力が向上し、錦糸町のイメージアップや東京東部地域の音楽文化の拠点としての役割を確立している。

② 専門性を持ったプロ意識の高いスタッフの継続的な活動によるホールの総合力

開館当初よりホール運営に関わるテクニカルスタッフ、設備スタッフ、レセプションスタッフが一体となってホールを運営、事業実施を進めている。プロフェッショナルな意識を持ったスタッフによるノウハウの蓄積は、施設の利用者からも高い評価を受けている。そしてさらに運営レベルの向上を目指すため、ミーティングを定期的に行い、実務における課題を共有し運営の強化を図ることで、一般的な業務委託では得られない実績と連携による総合力の向上に努めている。

このことにより、さまざまな人々がホールに親しみを感じ、参加できる環境が整備され主体的な創造活動を展開、地域の人々に生きる力を与えている。

③ 利用者の声を反映する新たな仕組みの活用

公演等の来場者のアンケートや、施設利用者からの声を集約するとともに、令和3年度から新たに区民モニター制度の導入を始めたことにより、すみだトリフォニーホールがおこなう事業の趣旨や今後の事業展開など様々な客観的な意見を集約し、その内容を事業に反映するといった仕組みを確立している。来場者や区民モニターからのニーズを把握し、年齢や居住地に偏りがなく、多くの人々の声を反映させる良質なプログラムの開発、提供を行うことによって地域の魅力を発信している。